

血清クレアチニン値を変動させる要因（腎疾患・腎不全を除く）

急速に腎機能が変わる要因

急性腎障害 (AKI: acute kidney injury)

低値になる要因

クレメジン[®]服用者

女性、小児、超高齢者 (加齢に伴う腎機能低下では高値になる)

極端な痩せ、栄養失調状態、長期臥床

筋ジストロフィーなどの筋委縮性疾患

下肢切断患者など

妊娠

甲状腺機能亢進症

糖尿病初期

尿崩症

過大腎クリアランス (augmented renal clearance)

高値になる要因

ACE阻害薬、ARBなどのレニンアンジオテンシン系阻害薬服用者

トリメトプリム、シメチジンなどCrの尿細管分泌阻害薬の服用者 (GFRには影響しない)

筋肉量が異常 (アスリート、ボディビルダーなど)

クレアチンサプリメント摂取後

大量の肉食後

尿路閉塞 (尿管結石、前立腺肥大症)

Jaffe法による測定 (0.2mg/dL程度高値だが溶血・黄疸ではさらに高値になる)

先端巨大症